ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　　発行 ２００８年7月３１日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

**２４号の主な内容**

■いのちの水プロジェクト
■ハビタット協力委員会
■アフガニスタン便り（川嵜渉さん）
■職員紹介（薄俊也さん）

第24号
http://cnhf.npgo.jp

## ■いのちの水プロジェクト

現在、世界の５人に１人（約12億人）が安全な水を飲めず、また、開発途上国に住む約26億人がトイレなどの衛生施設を利用できない危機的な状況です。

国連ハビタットは、アフガニスタン等において「いのちの水」プロジェクトを実施している他、アジア開発銀行とともに「アジアの水事業」を実施したり、スラム改善事業のための「水と衛生」に関する事業を展開しています。

これに関連して、国連ハビタット福岡本部は、福岡県国際交流センター、日本国際連合協会福岡県本部およびハビタット福岡市民の会との共催で、「いのちの水プロジェクト～国連ハビタットの事業現場から」と題して、講演会を実施することになりました。日時や会場についてはは4ページをご覧ください。
皆さんの積極的な参加をお待ちしています。（牟田）

## ■ハビタット協力委員会開催さる

７月１日（火）、福岡県知事公舎において、国連ハビタット福岡事務所協力委員会総会が行われました。

バラットさん　牟田　麻生渡県知事　　山前　　諸藤　　佐竹

事業報告会に続いて懇親会が開催され、麻生県知事、吉田市長をはじめ、協力委員会、国連ハビタット福岡事務所の職員、福岡国際交流センターの職員、その他関係者を含め、約７０名が参加しました。市民の会からは牟田、佐竹、山崎、諸藤の４名が参加しました。麻生福岡県知事より挨拶があり、国連ハビタット福岡本部に今後とも支援協力を要請されました。（諸藤）

### ☆ミャンマーサイクロン募金活動☆

５月１８日（日）爽やかな快晴の中、久留米市六角堂広場にてグローバルフェスタインくるめが開催されました。筑後地区を中心とした様々な国際協力、交流団体のブースが出展し、世界の音楽がステージで催され、料理も堪能できる催しとなっており、子ども達がおもちゃをリサイクルする「かえっこ」やネイルアート、クイズ、スタンプラリーなどが行われ、多くの来場者が訪れ、賑わいました。
ハビタット福岡市民の会ではミャンマーサイクロンで被災された方々のために緊急募金活動を行いました。集まった４８２４円は国連ハビタット福岡本部へ寄贈いたしました。皆さまのあたたかいご支援による募金はミャンマー被災地域住民の生活基盤復旧を目的とした居住関係の事案または事業に活用されます。ご協力ありがとうございました。
（諸藤）

## ■Habitat‘s Eye on Afghanistan

７月にアフガニスタンへ赴任したばかりの川嵜さんからのアフガニスタン便りです。

「火星」に着陸。これがアフガニスタンを見た最初の印象でした。

とうとう福岡を出発する日がやってきました。６月９日昼過ぎの飛行機に乗って、ドバイ経由のカブール行き。定刻どおり国連機は出発し、２時間半でドバイからカブール入りしました。たったこれだけの時間の差しかないのに、ドバイとカブールの町並みの差には驚かされます。飛行機の上から見たアフガニスタンはまさに「火星」の表面のように、緑は少なく、一面に赤茶けた大地が広がっていました。水と緑の豊富な福岡に比べると、ここは極端に不足している気がします。海のない国に住むのは初めての経験なので、新鮮な気持ちとそのギャップに少し不安が残りました。アフガニスタンはパキスタンの西、イランの東に位置していますが、ほかにもタジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン、中国と合計６カ国と国境を接するとても隣接国の多い国なのです。

初めて降り立ったアフガニスタン、それはまるで砂嵐の国でした。空港に迎えに来てくれたドライバーに、車の中で次々に渡される道具たちを見て、本当にアフガニスタンに来たんだ、と感じたのを今でもしっかり覚えてます。安否確認と非常時用の重量感のあるトランシーバー、現地の携帯電話、非常時連絡先リストなどなど。

アフガニスタン・カブール事務所に赴任して、約１ヶ月が過ぎようとしています。なんだかもっと長い時間が経ったような気がします。見るもの聞くものすべて新しく、驚かされることばかりで、まだ吸収しきれていません。その一方で、日常は宿泊施設からオフィスへの往復ばかりで、オフィスからの景色とか街のにおいに慣れつつあります。慣れるというのは非常に楽な一方で、大事な感覚が麻痺してしまいそうで、そのバランスを保つのが難しい。アフガニスタン（イスラム教の国）では金曜日が休みで、ハビタットを含むすべての国連機関は金曜日と土曜日が週末になり、日曜日から働き始めます。この感覚も今では、普通になりつつあるようです。ここカブール事務所だけでも、約 100 人以上のスタッフが常駐しています。多くのスタッフに囲まれながら、ぼくはモニタリング・レポーティング調整官（Monitoring & Reporting Coordinator）として働いています。主な仕事は、現在実施しているすべての事業の進捗状況を把握し、それぞれが事業計画に沿って適切に実施されているかを各事業担当者と検討し、事業を進めていくことです。また各事業におけるドナーや国連ハビタット福岡本部へ提出する事業報告書（中間および最終報告書など）を取りまとめ、ドナーの要望に沿う報告書を確実に提出できるように調整することも大切な仕事のひとつです。まだまだ歩き出したばかりですが、みんなの笑顔がこぼれるような事業ができるように、毎日奮闘しています。アフガニスタンで活動をしているのは、国連機関ばかりではありません。日本、アメリカ、イギリスなどの二国間の支援国、世界銀行、国際金融基金、国際 NGO など、さまざまな支援機関が活動するまさに支援のデパート状態になっています。ここへ赴任後すぐに、アフガニスタン支援国会合がフランスのパリで開催され、過去に亘る開発の成果と今後の課題や開発計画に対する理解を深め、国際社会のさらなる協力を求めるというものでした。今後の課題にしてもまだまだ非常に難しい状況ではあるけれど、このような国・まちづくり真っ只中の熱いアフガニスタンで、開発事業に携われてここにいることができるのは、とても幸せなことだと感じています。普段は日常の雑多なことや治安問題などに追われていますが、ここの人びとのために、常に自分に何ができるかを考えていたい。

*── I know nothing about the reality on the ground, but have a mission on their home ground──*

川嵜　渉

## ■職員紹介

７月９日、ハビタット福岡市民の会の佐竹、山前が薄俊也さんに国連ハビタット福岡本部事務所内でインタビューしました。薄さんは福岡市から派遣され、現在、市と国連ハビタット福岡本部との調整を行っている調整官です。

**○出身はどちらですか**

福岡市です。1985年に１年間だけ国土交通省（旧建設省）建築指導課に１年間だけ東京で暮らしましたが、残りの53年間は福岡です。

**○大学では何を勉強しましたか？**

九州大学で建築デザインや都市計画について勉強しました。

**○福岡市ではどんな仕事をしましたか？**

ハビタットにくる直前には福岡オリンピック、特にメインスタジアムや選手村の計画を担当していました。その他には公共事業の電子化推進や博多座、ソフトリサーチパーク、アジア太平洋博覧会の計画に携わりました。博覧会についてはこのハビタット福岡本部と同じエリアであり、運命的なものを感じています。

**○いつハビタットに来られたのですか？**

私はアジア太平洋地域における都市間連携の推進を職務とし、2006年に福岡市から派遣されてきました。

**○ハビタットではどんな仕事をしていますか？**

主に、アジア太平洋地域の共通課題を解決するためのプラットフォーム（情報交換・意見交換の場）構築に関する研究をしています。また、その実践として2006年に中国のウルムチ市で開催されたアジア太平洋都市サミットにおいて、ジャーナリスト会議を提唱し、2007年にアジア各都市で活躍するジャーナリスト10名を福岡市に招き８月と１２月の２回の開催に携わりました。

**○今後のプロジェクトは何ですか？**

第4回世界都市フォーラム（中国・南京市：2008年11月）時に開催予定の第３回ジャーナリスト会議です。

**○印象に残った仕事は何ですか？**

2006年のアジア太平洋都市サミットでは、団長待遇を受け、衛星放送にまで出たこと。

２度のラウンド・テーブル形式のジャーナリスト会議において、私が製作したＴＶカメラの回転装置が活躍できたことです。

**○将来の夢は何ですか？**

スイスのカーフリー･リゾート、ツェルマットのような低速の電気自動車のみで観光地を運営し持続可能な発展を遂げている村をアジア太平洋地域にも実現させたいです。不用意な道路開発はコミュニティを破壊します！

**○モットーは何ですか？**

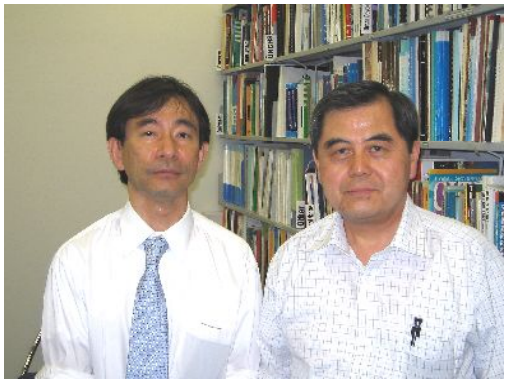
「十人十色の想像/創造力があれば、何でもできる。」です。

**○趣味は何ですか？**

ソーラー電気自動車製作、コンピューターグラフィック、創作凧、彫刻などです。

http://www.geocities.jp/shunya_susuki/my-work.htm

夜遅くまでのインタビューに応えていただきまして、どうもありがとうございました！



多趣味でアイデアマンの薄さん、今後もご活躍を期待しています。

（佐竹）

## ■今後のスケジュール

本部とハビタット福岡市民の会および日本国際連合協会福岡県本部、福岡県国際交流センター共催で開催される、「いのちの水プロジェクト～国連ハビタットの事業現場から」 の講演会がもうすぐ開催されます。市民の会は、講演会後の交流会を担当します。
一緒に参加しましょう！

**８月１９日（火）** 18:30～20:00
いのちの水プロジェクト講演会：アフガニスタン
講師：ラリス・ランカティケレ’（スリランカ出身）
（国連ハビタット人間居住オフィサー）
会場　アクロス福岡 1F　円形ホール

**９月１８日（木）** 19:00～21:00　**定例会**

**１０月９日（木）～１３日（月）** 11：00-18：00
**地球市民どんたく 2008**
会場：福岡市役所西側ふれあい広場北側緑地など
内容：NGO などの活動紹介ブース展示
ワークショップ、国際協力セミナー
ハビタット福岡市民の会では、５日間にわたってブースを出展し、活動紹介をします。お手伝いしていただける方を募集しています。

**１０月１６日（木）** 19:00～21:00　**定例会**
ニュースレター第２５号発行

**１１月２４日（月・祭）** 時刻未定
いのちの水プロジェクト講演会：モンゴル
講師：バラット・ダヒヤ（インド出身）
（国連ハビタット人間居住オフィサー）
会場：福岡アジア美術館あじびホール

**１２月１８日（木）** 19:00～21:00　**定例会**
ハビタット福岡事務所との交流会

**１月２２日（木）** 18:30～21:00　**定例会(総会)**

**２月１９日（木）** 19:00～21:00　**定例会**

以上のスケジュールは、都合により変更することがあります。

## ■２００８年度会費納入のお願い

会費の納入ありがとうございました。このニュースレターは、皆さん方の会費により発行が可能となります。資金が逼迫しておりますので、まだの方は、会費納入によるご支援をよろしくお願いいたします。

年会費　一般 2,000 円　学生 1,000 円
郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
加入者名　　ハビタット福岡市民の会

## ■事務局からのお知らせとお願い

### ●ボランティア募集

ハビタット福岡市民の会では、ニュースレターやホームページの作成、学習会やイベントの企画・運営など、会の運営をお手伝いしてくださるボランティアスタッフ（運営委員）を募集しています。ハビタット福岡市民の会の活動にご興味のある方、何かボランティアをやってみたいという方は、当会までご連絡ください。私達と一緒に友達づくりをしながら楽しく活動しましょう！

### ●活動内容

- ニュースレター（年3回発行）の取材、作成、発送
- ホームページの作成・更新・学習会やワークショップの企画・運営
- 募金活動や地球市民どんたく、世界ハビタットデーなど、各種イベントの企画・運営
- ハビタットの役割や国際理解に関する出前授業の企画・運営
- 国連ハビタット福岡本部主催のイベント等の、運営支援
- スタディーツアーの企画・運営

### ●ハビタット福岡市民の会チラシ

Ａ４版の説明用チラシをハビタット福岡市民の会の PR に活用し、入会を誘いましょう！
下記 Website よりダウンロードできます。

## 編集後記

今年の夏は、連日３５℃を超す記録的な猛暑が続いています。豪雨による災害もあちこちで発生し異常気象を感じます。これも地球温暖化の影響だろうかと、まったなしの地球環境保護の必要性を強く思うこのごろです。
原油高騰や通り魔事件の多発など暗いニュースが多いですが、わたしたちひとりひとりにできることから行動を起こし、明るい争いのない国際社会を築いていきたいものです。第 24 号の編集を終え、ふとそんなことを考えました。（SM）

## 事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん 連ボックス ２号
お問い合わせは：
TEL　090-6770-2481(代表 牟田)
FAX　0942-41-2080
E-mail: cnhf@npgo.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp